



記載例

徴収猶予

申請適用条項(下記により該当する適用条項を記載します。)

- ・災害により財産に相当な損失が生じた場合(第1項第1号)
- ・ご本人又はご家族が病気にかかった場合(第1項第2号)
- ・事業を廃止し、又は休止した場合(第1項第3号)
- ・事業に著しい損失を受けた場合(第1項第4号)
- ・上記4つのいずれかに類する事実があった場合(第1項第5号)

藍住町長宛

地方税法第15条第1項第4号(第1項第申請日場合、第 号類似)の規定により、以下のとおり徴収猶予を申請します。

申請者	住所所在地	〒***-**** 板野郡藍住町*-**-*		申請書提出日	令和3年3月22日			
	氏名	申請者 藍住 太郎		申請年月日	令和3年3月22日			
納付すべき町税	年度	2	国民健康保険税	期別	8	納期限	3・3・1	
	税額	100,000	円	督促料	100	円	要	
	納付すべき町税のうち、徴収猶予を受けようとする金額	100,000						円
	納付すべき町税のうち、徴収猶予を受けようとする金額	100,000	円	督促料	100	円	要	
猶予該当事実の詳細	令和元年決算期は、250万円の利益があったが、令和2年4月から新型コロナウイルス感染症の影響により主要取引先である〇〇社からの受注がなくなったこと等から令和2年決算期は150万円の損失となってしまった。							
一時に納付することができない事情の詳細	令和2年決算期の損失150万円のうち、令和元年決算期の利益金額250万円の2分の1の金額125万円を超える部分である25万円が、猶予該当事実があったことによる損失となっている。							
納付計画	年月日	令和3年3月31日	納付金額	20,000	円	納付金額	円	
	令和3年4月30日	20,000	円		円	円		
	令和3年5月31日	20,000	円		円	円		
	令和3年6月30日	20,000	円		円	円		
猶予期間	担保							
担保	<input type="checkbox"/> 有	担保財産の詳細又は提供できない特別の事情						
	<input checked="" type="checkbox"/> 無	提供できない特別の事情						
税理士署名押印	印							
	(電話番号 - -)							
<input type="checkbox"/>	税理士法第30条の書面提出有							
添付する書類欄								
<input checked="" type="checkbox"/> 猶予該当事実証明書類 <input type="checkbox"/> 収支の明細書 <input type="checkbox"/> 財産目録 <input checked="" type="checkbox"/> 財産収支状況書 <input type="checkbox"/> 担保関係書類								

申請書を提出する日を記載します。郵送で提出する場合は、郵便を投函する日を記載します。

郵便番号、住所(又は所在地)、電話番号、携帯電話及び氏名(又は名称)を記載し、押印します。※申請者が法人である場合は、その代表者の住所及び氏名を併せて記載します。

「納付すべき町税」の合計額から「財産収支状況書」の「2 現在納付可能資金額」欄の「現在納付可能資金額」を差し引いた金額を記載します。猶予を受けようとする金額が100万円を超える場合には、「財産目録」の「3 現在納付可能資金額」欄の「③現在納付可能資金額(①-②)」を差し引いた金額を記載します。

納付すべき町税を申請するとき、未納となっている町税を全て記載します。延滞金については、本税の全額を納付していないときは、「要」と記載します。

納付計画

「財産収支状況書」の「4 分割納付計画」欄から転記します。※猶予を受けようとする金額が100万円を超える場合には、「収支の明細書」の「7 分割納付年月日及び分割納付金額」欄の「納付年月日」欄及び「⑤分割納付金額(①+②+③+④)」欄を転記します。+延滞金

担保

- ① 猶予を受ける金額(未確定の延滞金を含みます。)が100万円以下の場合
- ② 猶予を受ける期間が3か月以内の場合(日まで 5日間)
- ③ 担保を提供することができない特別の事情がある場合

申請書に添付する書類にチェックを付けます。